

胃内視鏡検査の説明・同意書

口から内視鏡を挿入し、食道、胃、十二指腸の一部を観察する検査です。癌、炎症の有無などを診断します。

【偶発症】

検査後にのどの違和感が生じることがありますが、通常は自然に消失します。マウスピース装着中に歯が欠けたり折れたりする可能性があります。まれですが、嘔吐反射により胃・食道の粘膜が裂けて出血を起こす可能性があります（マロリーワイス症候群）。のどの麻酔（キシロカイン）にアレルギー反応を起こすことがまれにあります。

【鎮静剤について】

希望される方には鎮静剤を注射し、ウトウトした状態で検査をお受けいただくことが可能です。検査の不安や苦痛を軽減することができますが、効果には個人差があり、その日の体調などでも違いが生じます。副作用で血圧や呼吸が低下することがあり、緊急時には必要に応じて蘇生処置を行う場合があります。当日の車の運転や危険な作業は控えてください。

【生検について】

検査中、癌や特殊な炎症などを疑った場合、診断のために組織の一部を採取して病理検査（顕微鏡で診断する検査）に提出することがあります。保険診療となりますので、追加の自己負担金が発生します（全国一律：3割負担で約4000円）。問診で生検を希望された方のみに行います。

【ピロリ菌検査について】

日本人の胃がんの原因はピロリ菌感染によるものがほとんどです。過去にピロリ菌検査を受けたことがなく、胃カメラでピロリ菌感染を疑った場合には、検査をおすすめしています。ごく小さな胃粘膜を採取して検査することで、ピロリ菌に今感染しているかが分かります。保険診療となりますので、追加の自己負担金が発生します（全国一律：3割負担で約1540円）。問診でピロリ菌検査を希望された方のみに行います。

胃内視鏡検査についての説明を受け、検査に同意します。

年 月 日

お名前： _____